



東北ボランティア

8/10(水)から5日間、
菊華高校と菊武ビジネスの生徒 23 人
チーム TSUBASA が、
東北ボランティア活動に参加しました。

2011年3月11日(金)午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生。宮城県北部の栗原市で最大震度7を観測したほか、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉の8県で震度6弱以上を観測。

その直後に福島県相馬市で9.3メートル以上、宮城県石巻市で8.6メートル以上、岩手県宮古市では8.5メートルの高さとなる大規模な津波が広範囲にわたって沿岸部に押し寄せた。

発災直後の避難者は約47万人。仮設住宅などの入居は最大で約12万4000戸に及んだ。

復興庁によると、災害関連死を含めてこれまでの死者は1万9747人、行方不明者は2556人、全壊した住家被害は12万2005棟。

2022年2月現在、今も3万8139人が避難生活をしている。

被災地におけるボランティア活動の内容は変化しているが、まだまだ多くのボランティアが必要とされています。



「誠実さ」

日本には昔から「陰徳」というものがあり、大切にされてきました。

人に知らせず、ひそかにする善行のことです。

ちなみに「陽徳」というものもあって、人が見ているところで徳を積むことをいいます。

イイことをしたときに「それ、自分がやったんだよ!」と言うのが陽徳で、もちろん善いことをしている訳ですから素晴らしいことなんです。もう一つ上の素晴らしさを感じるのが「陰徳」なんです。

経営コンサルタントの先生の言葉に、「見て見ぬふりより、助けて助けていないふり」というのがあります。

まさしく「陰徳」の極みだなと感じます。

誰かが困っていたら、率先して助けて、でも手柄は本人や他人にあげてしまう。

あなたが人知れずがんばっていることも、あなたが人知れず学んでいることも、あなたが人知れず優しくしてくれていることも、あなたが人知れず応援してくれていることも、自然と知れ渡っていきます。

それは、「広める」のではなく「広まる」のです。

人生で成功できるかどうかは、誰も見ていないところで「正しい行ない」ができるかどうかで試されています。誰からも称賛されず、誰からも見られていない状況で、正しい行ないができるでしょうか? 成功者は誰も見ていないところでも正しい行ないをします。

なぜなら、それが「正しいことだから」です。それが、誠実さです。

